

# 第141期中間報告書

(平成18年3月1日から平成18年8月31日まで)



松 竹 株 式 会 社

株主の皆様へ

## 松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社は、第141期の中間期を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

なお今回より本報告書の「営業の概況」の内容を個別から連結へ改めさせていただきました。当社へのご理解を深めていただく一助となれば幸いです。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 当中間期の概況（連結）

当中間期におけるわが国経済は、原油価格の動向やアメリカ経済の情勢、日銀の量的金融緩和と政策の解除等、不透明要因もありましたが、企業収益は堅調に推移し、設備投資の増加、雇用情勢の改善により個人消費も緩やかな増加がみられ、景気の回復基調は顕著となりました。

映画界は、引続きシネコンを中心に映画館のスクリーン数は増加傾向にありますが、洋画は特定シリーズ以外の大ヒット作に恵まれませんでした。一方で、邦画の好調さが目立ちました。ビデオ業界は、ビデオソフト全体の売上が、前年（1月～7月）比102.3%となり、DVDとカセットの比率は98対2と圧倒的にDVD市場となりました。演劇界は、歌舞伎やミュージカルが堅調に推移しましたが、その他の公演は団体鑑賞客減少の傾向にあります。不動産賃貸は、全国主要都市のオフィスビル需要が底堅く空室率も改善傾向となりました。

このような環境の中で当社グループは、経営の効率化および収益強化を図るとともに社内ルールや監査体制の整備等、内部統制の構築を進めました。

以上の他にも原価抑制等の企業努力を積み重ねてまいりましたが、当中間期の売上高は45,698百万円（前年同期比95.8%）となり、経常損失は1,653百万円となり、特別利益3,119百万円、特別損失1,834百万円を計上しました結果、中間純損失は340百万円となりました。

なお、中間期は、配当しておりませんのでご了解の程お願い申し上げます。

以下事業別の概況をご報告申し上げます。

#### ◆映像関連事業◆

配給は、邦画14本、洋画5本を配給し、他社への委託配給で洋画1本を公開しました。「子ぎつねヘレン」「タイヨウのうた」がヒットし、夏休み公開の「ラブ★コン」

「花田少年史 幽霊と秘密のトンネル」も堅調でしたが、洋画作品の不振から全体としては低調に推移しました。

興行は、「ナルニア国物語／第1章：ライオンと魔女」「ナイロビの蜂」「デスノート前編」「パイレーツ・オブ・カリビアン／デッドマンズ・チェスト」等の作品にめぐまれ期待通りの興行を達成しました。また、(株)松竹マルチプレックスシアターズ(以下SMT)運営の複合映画館「MOVIX亀有」、「MOVIX昭島」、「MOVIX堺」の3サイトが続けてオープンし、収益に寄与しました。

テレビ制作は、4作品4本を制作し、その中で2時間ドラマ「追いつめる」が高視聴率を獲得しました。

映像ソフトは、「SAYURI」「子ぎつねヘレン」やTVドラマ「輪舞曲(ロンド)」「松竹芸能ライブシリーズ」等バラエティに富んだ作品を発売し、また、「渥美清 没後十周年」を記念したキャンペーンの実施や次世代DVDであるHD-DVDタイトルの発売にも積極的に取り組みました。また、テレビ放映権販売は、「男はつらいよ」のBS放送全作放映が引き続き行われ、「釣りバカ日誌」シリーズも好評でした。

CS放送事業は、(株)衛星劇場の「衛星劇場」チャンネルおよび「ホームドラマチャンネル」が韓国・台湾ドラマやNHK大河ドラマ等、顧客ニーズに適応した良質で魅力的な番組編成に取り組み、新たな女性層を開拓し、収益に寄与しました。

映像関連事業の中間期の売上高は、25,178百万円(前年同期比93.3%)となりました。

### ◆演劇事業◆

歌舞伎公演では、5月に市川團十郎復帰が話題となった「團菊祭五月大歌舞伎」や泉鏡花作品の坂東玉三郎監修・出演による「七月大歌舞伎」、中村吉右衛門を座頭とした「五月大歌舞伎」、坂田藤十郎襲名披露興行が、好稼働しました。また、古典の新演出による「東海道四谷怪談」が人気を博し、こんぴら歌舞伎や公文協主催の歌舞伎公演、「坂東玉三郎特別舞踊公演」も好成績を収めました。海外においてもロンドン・アムステルダムで市川海老蔵を中心とした訪欧歌舞伎公演が、高い評価を得、国際文化交流に貢献しました。

また、坂東玉三郎と鼓童がコラボレーションした「アマテラス」は、好成績を収め、「越路吹雪物語」、新派「鶴八鶴次郎」が健闘しました。更に「滝沢演舞城」が話題を集めました。

松竹芸能(株)は、舞台製作の他にも、「知っとこ!」等のテレビ放送制作やレギュラー番組を確保し、一方で若手タレント育成も積極的に行いました。

演劇事業の中間期の売上高は、11,897百万円(前年同期比92.1%)となりました。

### ◆不動産・その他の事業◆

不動産賃貸では、東劇ビル、築地松竹ビル、松竹ショッピングセンターが順調に稼働し、建物の管理体制も強化しました。出版・商品販売では、「パイレーツ・オブ・

カリビアン／デッドマンズ・チェスト」がプログラム、キャラクター商品販売とも予想以上の好成績をあげました。また、新規事業の一つとして、大阪道頓堀に女性専用岩盤浴スパ「LOHASTIME OSAKA（ロハスタIME大阪）」を6月よりオープンし、予想を大きく上回る順調なスタートとなりました。

また、松竹衣裳㈱をはじめとする衣裳会社3社は、演劇・舞踊・映画・テレビ業界の貸衣裳事業を中心として、堅調な成績を収めました。

不動産・その他の事業の中間期の売上高は、8,622百万円（前年同期比110.9%）となりました。

## 今後の見通し

今後のわが国経済は、引続き原油価格の動向等、懸念材料はありますが、緩やかな景気拡大が予想されています。その一方で当業界は、消費者の価値観の多様化や異業種からの参入等、厳しい経営環境が続くものと思われま

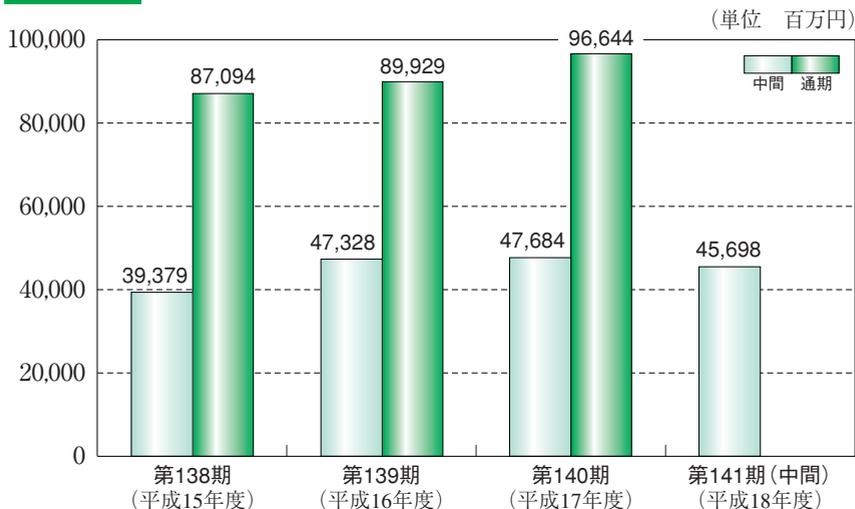
す。このような状況のもとで当社グループは、お客様へのサービスを第一に考え、集客施設の救急救命体制充実にむけたAED（自動体外式除細動器）を一齐に配備します。更に人材の活性化やコストパフォーマンスの高い効率的な経営を図り、内部統制を積極的に推し進め、グループ企業価値の向上に努めてまいります。

映像関連事業は、「出口のない海」や浅田次郎原作の「地下鉄に乗って」、山田洋次監督の期待作「武士の一分」、ファミリー向けの「ウルトラマンメビウス&ウルトラ兄弟」「名犬ラッシー」等、良質の作品を配給し、興行ではクリント・イーストウッド監督による硫黄島プロジェクト「父親たちの星条旗」「硫黄島からの手紙」や「デスノート the Last name」等、強力なライン・アップを編成します。また、SMT運営の複合映画館「MOVIX 柏の葉」、「MOVIX 八尾」の2サイトのオープンを予定し、その時点で当社グループのシネコン「MOVIX」全体としては、22サイト221スクリーンとなります。演劇事業は、吉例顔見世興行での中村勘三郎襲名披露興行をはじめ、尾上松緑・市川海老蔵・尾上菊之助顔合わせの「花形歌舞伎」、「壽初春大歌舞伎」は東京の正月を飾り、「初春大歌舞伎」では大阪で坂田藤十郎と市川團十郎が顔合せいたします。更に中村勘三郎・藤山直美の喜劇作品等魅力ある演目で多くのお客様の期待に応えます。また、歌舞伎とインターネットの融合による「歌舞伎美人」というネット事業を新たに展開します。不動産・その他の事業は、平成20年秋に新宿松竹会館の再開発として、10スクリーンのシネコンを中心とした複合ビルへのオープンを目指します。また、モバイルビジネスでは、「MOVIE モバイルストア」のリニューアル、「LOHASTIME」では、2号店の計画と同ブランドを使用した商品の企画開発等、安定収益の確保と事業の拡大を図ります。

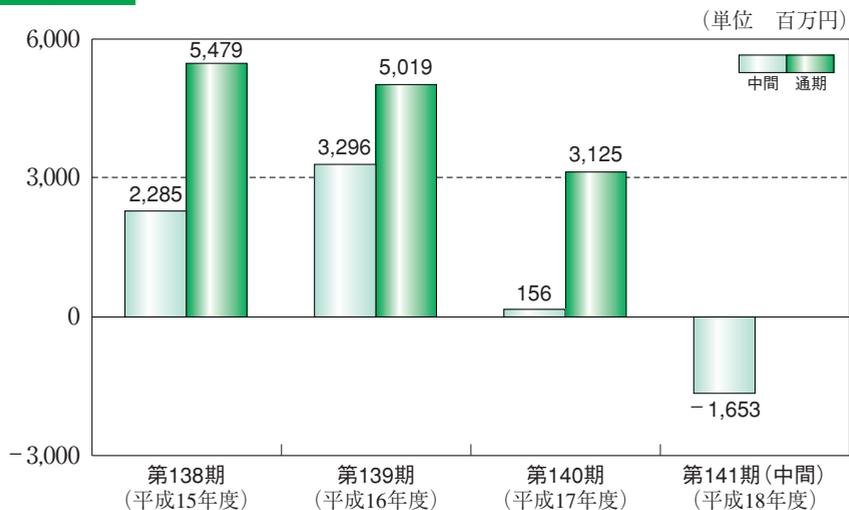
何卒、今後とも株主の皆様の一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## [業績の推移・連結]

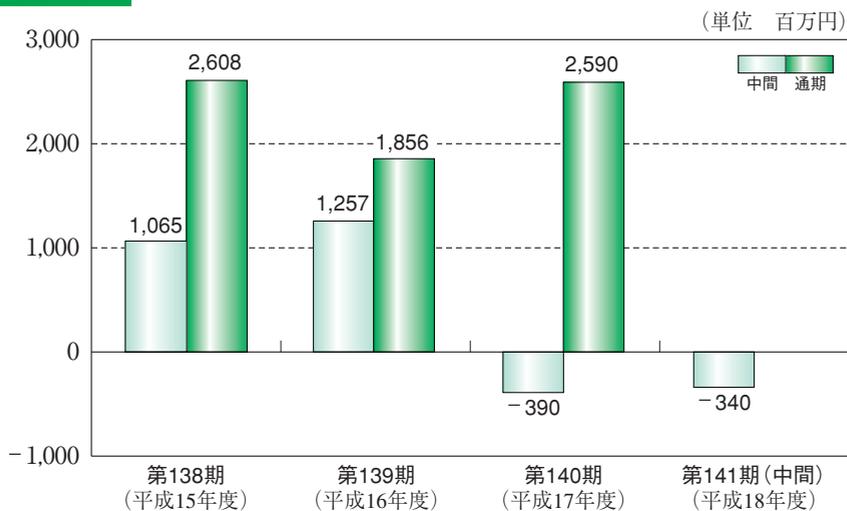
### 売上高



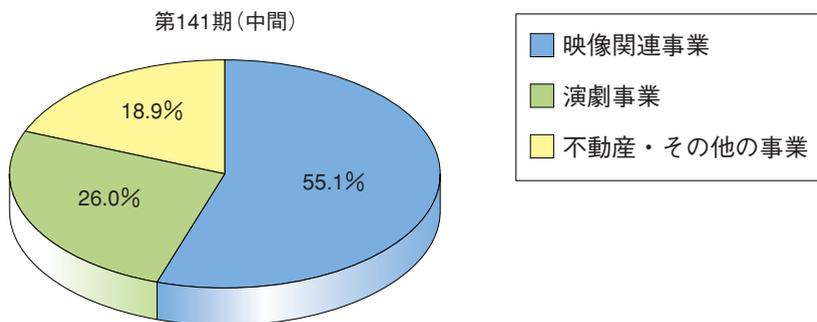
### 経常利益



## 当期純利益



## 事業別売上



## 中間連結貸借対照表

(平成18年 8月31日現在)

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	<b>35,539,214</b>	<b>流動負債</b>	<b>30,918,215</b>
現金及び預金	13,769,055	支払手形及び買掛金	7,119,424
受取手形及び売掛金	7,901,067	短期借入金	6,554,200
たな卸資産	5,425,046	一年以内返済予定長期借入金	4,778,360
前渡金	2,990,149	一年以内償還予定社債	1,100,000
前払費用	663,111	未払金	6,661,042
繰延税金資産	1,195,585	未払費用	686,454
立替金	825,545	未払事業所税	41,580
その他	2,960,581	未払法人税等	693,147
貸倒引当金	△190,928	未払消費税等	80,975
<b>固定資産</b>	<b>95,472,653</b>	賞与引当金	318,275
<b>有形固定資産</b>	<b>53,097,522</b>	その他	2,884,753
建物及び構築物	20,046,235	<b>固定負債</b>	<b>40,891,187</b>
設備	14,883,679	社債	2,300,000
機械装置及び運搬具	833,986	長期借入金	27,910,479
工具・器具・備品	1,196,729	繰延税金負債	2,538,430
土地	15,581,703	退職給付引当金	2,121,710
建設仮勘定	441,253	役員退職慰労引当金	640,021
その他	113,935	受入保証金	5,360,821
<b>無形固定資産</b>	<b>2,189,840</b>	リース資産減損勘定	19,724
借地権	1,283,969	<b>負債合計</b>	<b>71,809,402</b>
商標権	5,181	<b>純資産の部</b>	
ソフトウェア	708,213	<b>株主資本</b>	<b>50,602,604</b>
連結調整勘定	131,529	資本金	27,418,295
その他	60,946	資本剰余金	20,128,768
<b>投資その他の資産</b>	<b>40,185,290</b>	利益剰余金	4,186,668
投資有価証券	18,945,375	自己株式	△1,131,127
出資金	9,316,438	評価・換算差額等	5,352,716
長期貸付金	1,619,397	その他有価証券評価差額金	5,352,716
長期前払費用	414,789	<b>新株予約権</b>	<b>14,680</b>
繰延税金資産	257,283	<b>少数株主持分</b>	<b>3,267,895</b>
差入保証金	7,377,306	<b>純資産合計</b>	<b>59,237,896</b>
その他	2,476,925	<b>負債・純資産合計</b>	<b>131,047,298</b>
貸倒引当金	△222,225		
<b>繰延資産</b>	<b>35,430</b>		
株式交付費用	32,247		
開発費用	3,183		
<b>資産合計</b>	<b>131,047,298</b>		

## 中間連結損益計算書

( 自 平成18年 3月 1日 )  
( 至 平成18年 8月 31日 )

(単位 千円)

科 目	金 額
売上高	45,698,363
売上原価	27,077,036
<b>売上総利益</b>	<b>18,621,326</b>
販売費及び一般管理費	20,071,452
<b>営業損失</b>	<b>1,450,125</b>
営業外収益	520,753
受取利息及び配当金	184,882
その他の営業外収益	335,870
営業外費用	723,708
支その他の営業外費用	351,900
経常損失	371,807
<b>特別利益</b>	<b>1,653,080</b>
特別利益	3,119,156
固定資産売却益	3,050,025
貸倒引当金戻入益	415
関係会社員権売却益	48,015
グループ別損失	20,700
特別損失	1,834,691
固定資産売却損	27
固定資産除却損	93,863
固定資産解体費用	200,000
映像製作画倒れ償却損	99,004
投資有価証券評価損	635,383
役員退職慰労金	52,352
過年度役員退職慰労引当金繰入額	3,352
グループ員権評価損	9,500
減損損失	677,255
その他の特別損失	63,952
<b>税金等調整前中間純損失</b>	<b>368,615</b>
法人税、住民税及び事業税	683,317
法人税等調整額	△858,460
少数株主利益(控除)	146,746
<b>中間純損失</b>	<b>340,218</b>

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

( 自 平成18年 3月 1日 )  
( 至 平成18年 8月 31日 )

(単位 千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△673,136
投資活動によるキャッシュ・フロー	△519,959
財務活動によるキャッシュ・フロー	△771,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	2
現金及び現金同等物の増減額	△1,964,704
現金及び現金同等物の期首残高	15,470,485
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△134,400
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,371,379

## 中間連結株主資本等変動計算書

（自 平成18年 3月 1日）  
（至 平成18年 8月 31日）

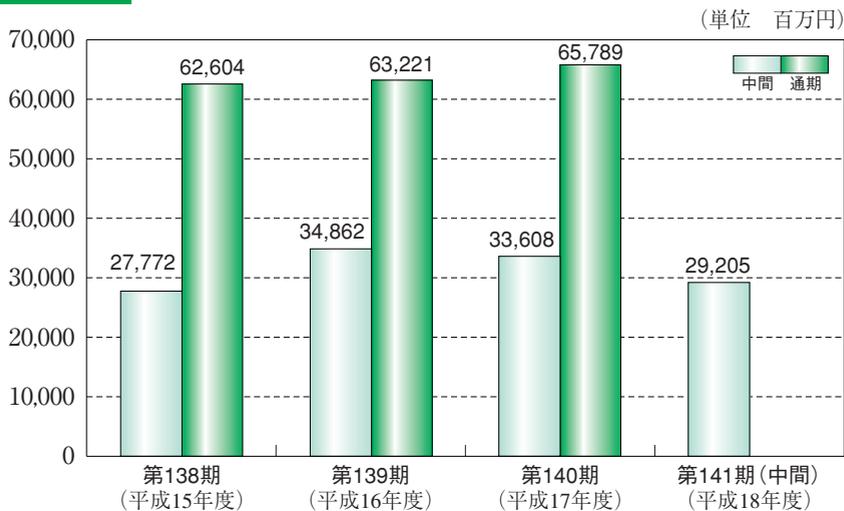
（単位 千円）

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
平成18年 2月28日残高	26,201,895	18,921,591	5,043,158	△865,439	49,301,206
中間連結会計期間中の変動額					
新株の発行	1,216,400	1,213,210			2,429,610
剰余金の配当			△346,111		△346,111
利益処分による役員賞与			△60,402		△60,402
連結子会社減少に伴う剰余金減少			△109,757		△109,757
中間純損失			△340,218		△340,218
自己株式の取得				△351,195	△351,195
自己株式の処分		△6,033		82,480	76,447
持分法適用会社の持分率変動による差額				3,027	3,027
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）					
中間連結会計期間中の変動額合計	1,216,400	1,207,176	△856,490	△265,687	1,301,398
平成18年 8月31日残高	27,418,295	20,128,768	4,186,668	△1,131,127	50,602,604

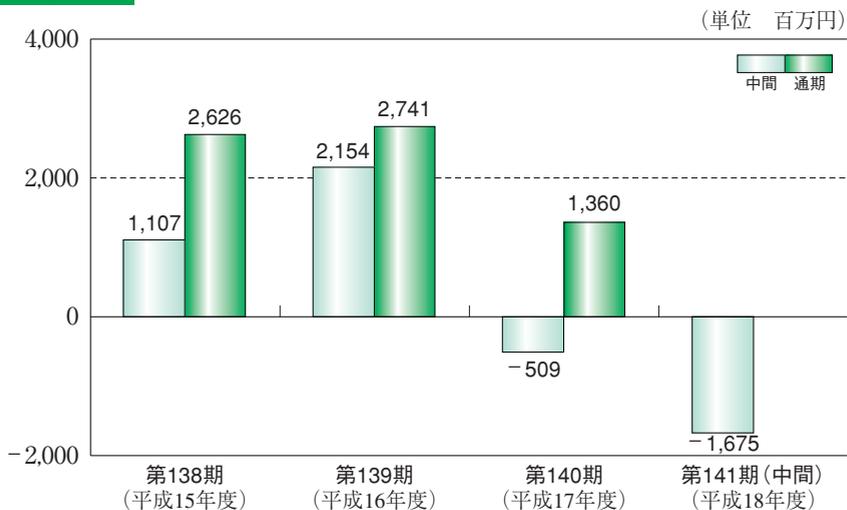
	評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	新株予約権	少数株主 持分	純資産合計
平成18年 2月28日残高	6,004,312	25,690	3,193,480	58,524,688
中間連結会計期間中の変動額				
新株の発行				2,429,610
剰余金の配当				△346,111
利益処分による役員賞与				△60,402
連結子会社減少に伴う剰余金減少				△109,757
中間純損失				△340,218
自己株式の取得				△351,195
自己株式の処分				76,447
持分法適用会社の持分率変動による差額				3,027
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）	△651,596	△11,010	74,414	△588,192
中間連結会計期間中の変動額合計	△651,596	△11,010	74,414	713,207
平成18年 8月31日残高	5,352,716	14,680	3,267,895	59,237,896

## [業績の推移・個別]

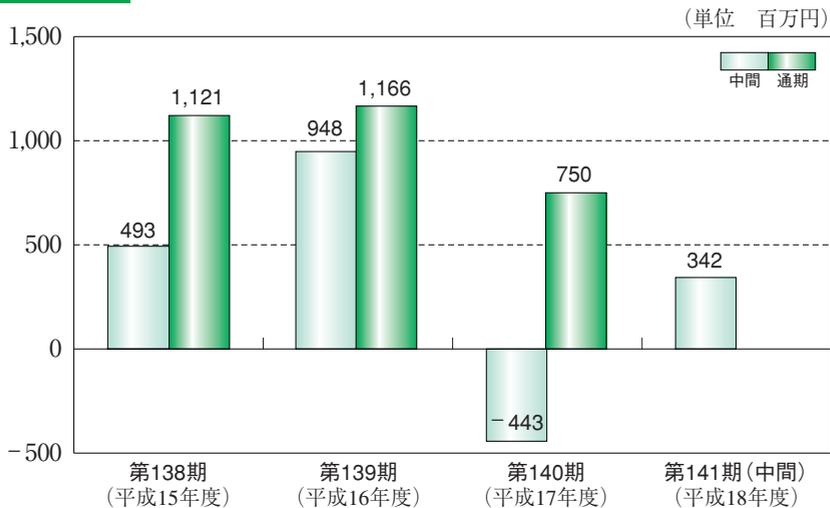
### 売上高



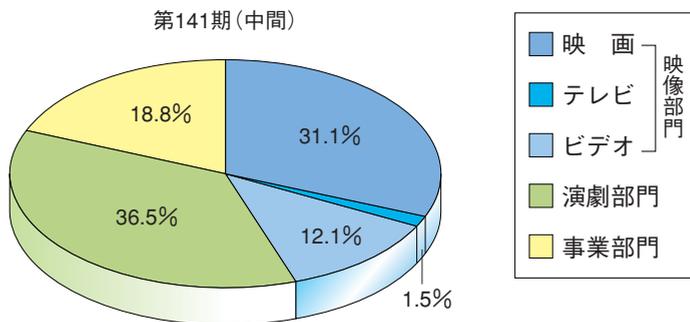
### 経常利益



## 当期純利益



## 部門別売上



# 中間貸借対照表

(平成18年 8月31日現在)

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>資産の部</b>		<b>負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	29,514,461	<b>流動負債</b>	24,284,167
現金及び預金	7,905,953	買掛金	4,378,659
売掛金	6,556,778	短期借入金	9,035,560
買掛金	2,933,562	社債(一年以内償還)	1,100,000
商品	112,390	未払金	6,162,785
材料	2,450	未払費用	469,656
仕掛品	754,279	未払事業所得税	24,538
貯蔵品	673,826	未払法人税等	282,462
前渡金	2,694,779	前受金	1,473,982
費用	216,261	預り金	982,663
延滞税金	1,057,965	賞与引当金	212,925
短期貸付	4,346,140	その他の流動負債	160,933
立替	954,109	<b>固定負債</b>	<b>34,664,965</b>
未収消費税等	125,700	社債	2,300,000
その他の流動資産	1,352,261	長期借入金	23,166,250
貸倒引当金	△171,998	繰延税金負債	1,844,462
<b>固定資産</b>	<b>85,317,830</b>	退職給付引当金	1,430,225
<b>有形固定資産</b>	<b>42,516,262</b>	役員退職慰労引当金	598,137
建物	18,912,049	受入保証金	5,325,889
構築物	6,483,456		
機械及び装置	105,906	<b>負債合計</b>	<b>58,949,133</b>
車両運搬具	636,212		
工具・器具・備品	11,928	<b>純資産の部</b>	
土地	1,047,936	<b>株主資本</b>	<b>50,559,118</b>
建設仮勘定	15,180,880	資本金	27,418,295
<b>無形固定資産</b>	<b>1,548,058</b>	資本剰余金	20,128,768
借地権	974,866	資本準備金	18,120,757
商標	4,570	その他資本剰余金	2,008,010
ソフトウェア	568,622	利益剰余金	3,699,049
投資その他の資産	<b>41,253,509</b>	その他利益剰余金	3,699,049
投資有価証券	17,674,902	固定資産圧縮積立金	931,030
関係会社株	8,618,417	繰越利益剰余金	2,768,018
出長	9,313,288	自己株式	△686,994
差入	1,951,064	評価・換算差額等	<b>5,337,912</b>
貸付	4,689,234	その他有価証券評価差額金	5,337,912
その他の投資	935,892	<b>新株予約権</b>	<b>14,680</b>
貸倒引当金	△1,929,289		
繰延税金	28,552	<b>純資産合計</b>	<b>55,911,711</b>
株式交付	28,552		
<b>資産合計</b>	<b>114,860,844</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>114,860,844</b>

# 中間損益計算書

(自 平成18年3月1日  
至 平成18年8月31日)

(単位 千円)

科 目	金 額
売 上 高	29,205,718
売 上 原 価	17,578,789
売 上 総 利 益	11,626,928
販売費及び一般管理費	13,309,875
営 業 損 失	1,682,946
営 業 外 収 益	639,504
受取利息及び配当金	499,646
その他の営業外収益	139,858
営 業 外 費 用	631,724
支 払 利 息	279,217
その他の営業外費用	352,506
経 常 損 失	1,675,166
特 別 利 益	3,613,915
固 定 資 産 売 却 益	3,557,472
関係会社整理損戻入益	37,742
ゴルフ会員権売却益	18,700
特 別 損 失	1,568,456
固 定 資 産 除 却 損	3,637
固 定 資 産 解 体 費 用	200,000
映像製作企画倒れ償却損	99,004
投資有価証券評価損	635,383
関係会社整理損	341,539
関係会社株式消却損	10,000
ゴルフ会員権評価損	8,500
減 損 損 失	270,391
税引前中間純利益	370,292
法人税、住民税及び事業税	290,599
法 人 税 等 調 整 額	△263,024
中 間 純 利 益	342,717

# 中間株主資本等変動計算書

(自 平成18年3月1日)  
(至 平成18年8月31日)

(単位 千円)

	株 主 資 本							自己株式	株主資本合計
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金				
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	固定資産圧縮積立金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
平成18年2月28日残高	26,201,895	16,907,547	2,014,044	18,921,591	973,015	2,746,427	3,719,443	△418,279	48,424,651
中間会計期間中の変動額									
新株の発行	1,216,400	1,213,210		1,213,210					2,429,610
利益処分による固定資産圧縮積立金取崩					△41,984	41,984	—		—
剰余金の配当						△346,111	△346,111		△346,111
利益処分による役員賞与						△17,000	△17,000		△17,000
中間純利益						342,717	342,717		342,717
自己株式の取得								△351,195	△351,195
自己株式の処分			△6,033	△6,033				82,480	76,447
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)									
中間会計期間中の変動額合計	1,216,400	1,213,210	△6,033	1,207,176	△41,984	21,590	△20,394	△268,715	2,134,466
平成18年8月31日残高	27,418,295	18,120,757	2,008,010	20,128,768	931,030	2,768,018	3,699,049	△686,994	50,559,118

	評価・換算差額等		
	その他有価証券評価差額金	新株予約権	純資産合計
平成18年2月28日残高	5,989,291	25,690	54,439,632
中間会計期間中の変動額			
新株の発行			2,429,610
利益処分による固定資産圧縮積立金取崩			—
剰余金の配当			△346,111
利益処分による役員賞与			△17,000
中間純利益			342,717
自己株式の取得			△351,195
自己株式の処分			76,447
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	△651,379	△11,010	△662,389
中間会計期間中の変動額合計	△651,379	△11,010	1,472,077
平成18年8月31日残高	5,337,912	14,680	55,911,711

## 会社の概要

商号 松竹株式会社  
 設立 大正9年11月  
 資本金 27,418,295,022円  
 従業員数 611名

本社、支社および営業所  
 本社  
 東京都中央区築地四丁目1番1号  
 電話 03-5550-1533(総務課)  
 関東支社(東京)  
 関西支社(大阪)  
 九州営業所(福岡)

当社ホームページ  
<http://www.shochiku.co.jp>

## 役員

取締役会長	永大	山本	武臣
代表取締役副会長	大谷	信	義
代表取締役社長	迫本	淳	一
専務取締役	野田	助	嗣
専務取締役	安孫子	雅	正
常務取締役	山中	本	司
常務取締役	清島	水	厚
取締役相談役	油谷	谷	仁
取締役	白井	本	昇
取締役	松本	輝	彦
取締役	関	一	起
常勤監査役	岡田	敏	明
監査役	河村	直	治
監査役	柏木	俊	彦
監査役	中川	勝	弘

## 株式の状況

発行可能株式総数 300,000,000株  
 発行済株式総数 118,984,278株  
 株主数 18,825名  
 大株主

株主名	持株数	持株比率
モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルリミテッド	5,296,100株	4.45%
株式会社歌舞伎座	4,667,000	3.92
株式会社みずほコーポレート銀行	4,500,000	3.78
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,344,000	3.65
セコム株式会社	3,700,000	3.11
株式会社大林組	3,600,800	3.03
大成建設株式会社	3,444,000	2.89
西松建設株式会社	3,288,000	2.76
株式会社東京放送	2,542,000	2.14
東京急行電鉄株式会社	2,062,600	1.73

(平成18年8月31日現在)

## 関係会社

### 【映像関連事業】

- (株)松竹マルチプレックスシアターズ  
複合映画館（シネマコンプレックス）「MOVIX」の開発・運営
- (株)衛星劇場  
CS・CATV放送、ソフト製作・編集【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
- (株)トライメディア  
劇場上映のCMの制作および送出、その他のマルチメディア全般の企画開発等
- 松竹京都映画(株)  
劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負【京都撮影所】
- (株)伝統文化放送  
CS・CATV放送局、ソフト製作・編集【歌舞伎チャンネル】
- 中映(株)  
浅草中映劇場他4スクリーンの映画館運営
- (株)松竹ニューセレクト  
複合映画館「MOVIX本牧」（8スクリーン）の映画館運営
- (株)ムービーチャンネル  
CSのPPV放送局、ソフト製作・編集【POWER PLAT'S】
- デジタルマガジン(株)  
デジタルコンテンツの企画・製作
- (株)サテライト・マスター  
CS放送局の番組送出
- 札幌シネマフロンティア(株)  
複合映画館「札幌シネマフロンティア」（12スクリーン）の運営
- (株)神奈川メディアセンター  
CATV番組制作、人材育成
- (株)鎌倉ケーブルコミュニケーションズ  
CATV放送局、ソフト企画・製作・販売
- アナザヘヴン(株)  
映画の製作および配給、並びにその請負・販売
- 日本映像振興(株)  
映像関連イベントの企画・運営

### 【演劇事業】

- ・松竹芸能(株)  
タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・制作
- ・(株)松竹エンタテインメント  
俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント

### 【不動産・その他の事業】

- ・(株)歌舞伎座  
歌舞伎座その他事務所・店舗の賃貸
- ・(株)サンシャイン劇場  
サンシャイン劇場の賃貸、演劇・映画の興行他
- ・新橋演舞場(株)  
新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- ・松竹衣裳(株)  
舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹サービスネットワーク  
映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理
- ・松竹関西サービス(株)  
不動産管理・清掃
- ・松竹音楽出版(株)  
映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- ・歌舞伎座舞台(株)  
演劇舞台の大道具製作・販売
- ・(株)大和衣裳  
舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)関西美術  
演劇舞台の小道具製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳(株)  
舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)ショウビズスタジオ  
舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画製作並びに音響効果の企画製作再生
- ・(株)イヤホンガイド  
演劇劇場内イヤホンガイドサービス

## 株 主 メ ト

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月下旬
株主確定基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当 2月末日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同 連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
単 元 株 式 数	1,000株
公 告 掲 載 新 聞	東京都において発行する日本経済新聞
<p>●株式に関するお手続きのご請求について          次のフリーダイヤルおよびインターネットでも24時間受付けておりますので、ご利用下さい。</p> <p>0120-244-479          (三菱UFJ信託銀行 本店証券代行部)</p> <p>0120-684-479          (三菱UFJ信託銀行 大阪証券代行部)</p> <p>インターネットホームページ  <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a></p> <p>なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会下さい。</p>	

## 株 主 優 待 基 準

### 【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	映画優待期間	演劇優待期間
毎年2月末日	毎年6月1日～同年11月30日	毎年6月分～同年11月分
毎年8月末日	毎年12月1日～翌年5月31日	毎年12月分～翌年5月分

※6ヶ月ごとに株主様へ株主優待内容通知をご通知いたします。

### 【映画優待 ポイント付与基準】 ※10ポイントにつき1名様のご入場可能

保有株式数	6ヶ月優待ポイント数 (1ヶ月使用可能ポイント数)
1,000株以上	80ポイント (40ポイント)
2,000株以上	160ポイント (60ポイント)
3,000株以上	200ポイント (80ポイント)
5,000株以上	280ポイント (100ポイント)
8,000株以上	400ポイント (120ポイント)
10,000株以上	480ポイント (140ポイント)

### 【演劇優待 枚数基準】

保有株式数	6ヶ月優待枚数
3,000株以上	2枚
5,000株以上	4枚
8,000株以上	6枚
10,000株以上	8枚
15,000株以上	12枚
20,000株以上	16枚

※「6ヶ月優待ポイント数」とは、優待権利期間の6ヶ月の間に使用できるポイント総数です。そのポイント総数の内、1ヶ月に使用できる上限のポイント数を示しているのが、「1ヶ月使用可能ポイント数」です。